



は、やはりすごいです  
ね。こうおっしゃるの  
は、「平和・国際理  
解」をテーマに、総合  
的な学習の取り組みの  
中で昨年、日本の子ど  
もたちとネパールの  
ブータン難民の子ども

は、生徒たちに多くの  
気づきを与えた。  
ネパール系ブータン  
人が国を追われ、10万  
人以上がネパールの難  
民キャンプでの避難生  
活を強いられてから既  
に16年になる。難民た

らんや「鳩」が中心  
だったのに対して、送  
られてきた絵は「母国  
に帰る」「争いを繰り  
返さない誓い」「故郷  
の風景」がテーマに  
なっていたのだ。絵の  
構成や質も高く、驚い  
たという。

故郷ブータンに帰る  
目途の立たない彼らに  
とって、絵を描くこと  
は特別な意味を持つ。  
日本の子どもたちとの  
交流は、彼らへの励ま  
しにもなったことだろ  
う。

## 根づけ！ 国際交流

NPO法人日本UN  
HCR協会事務局長

## 根本かおる

寺島先生は、今後も

私は今年5月末まで  
UNHCR (国連難民

同様の取り組みを続  
け、つくば市内の学校

ちの35%近くがキャン  
プで生まれ、故郷を  
まったく知らない。

にも参加を呼びかけた  
いと語っている。こう

たちとの絵画交流を指  
導した茨城県つくば市  
立谷田部中学校の寺島

した市民レベルの交流  
や国連難民募金への参

立谷田部中学校の寺島  
清一教諭だ。

加の輪が広がっていく  
ことを望んでやまな

フィルタを通してさな  
い子どもの素直な視点  
から、それぞれの文

(詳しくは当協会  
ホームページ Hit

文化・社会背景などを感  
じ、国際理解を促進す  
ることをねらいとして

p://www.japanforunh  
c.org「学校のみなが

行われたこの絵画交流

まへ」コーナーに)

「アナログ」な形で  
実物に触れたときの子  
どもたちの目の輝き